



5万分の1地質図幅の新聞

早岐

HAIKI

5万分の1地質図幅 地域地質研究報告

著者 長浜春夫・松井和典
 発行 工業技術院地質調査所
 取扱先 東京地学協会(03)261-0809 262-1401
 そのほか全国主要書店
 販売価格 2,390円

この地質図幅地域は 長崎県大村湾の北半部を含む位置にあり 西部地域では大村湾が佐世保湾と針尾・早岐の狭い瀬戸で連絡している。この瀬戸は潮の干満時には急流をなし うず潮が発生するが早岐瀬戸は最近流土が多いため浅くなり 干潮時にはほとんど流れない。

本地域内の地質は先第三紀の長崎変成岩類 古第三紀の西彼杵・杵島の両層群 中新世の佐世保層群と玄武岩類及び鮮新世一更新世の火山岩類から構成されている。

南西部には 低温・高圧型の長崎変成岩類がわずかに分布している。長崎変成岩類はおもに 曹長石の斑状変晶を有する黒色片岩である。地表では西彼町が分布範囲の北端であるが最近のボーリング資料により地下深部では前知断層付近まで延びていることが明らかになった。

第三紀層は少範囲に分布する西彼杵・佐世保両層群のほかは

杵島層群で 幾つかの盆状及びドーム構造を形成している。そして これらの褶曲構造を切る北西-南東方向の断層が多く発達し 構造を複雑にしている。石炭は 佐世保市付近の相浦層中の炭層から採掘された。

本地域中央部には 多量の火砕岩を伴った輝石安山岩の虚空蔵火山岩類が円形に分布している。この火砕岩中には湖成層があり 低品位の褐鉄鉱が胚胎され 鮮新世と考えられる植物化石を含んでいる。また 厚さ2m以上の珪藻土層を挟有する所があり 嬉野町俵坂では良質層が採掘された。虚空蔵山火山岩類は Hypersthenic Rock Series に属し 南東方の多良岳火山岩とは化学組成・火山層序の違いからこれと区別した。本岩類の最下部溶岩は骨材資源として大量に採石されている。

流紋岩の分布は二地区で 前知断層に沿って北西-南東方向の帯状に活動しているものは 長崎変成岩類と第三紀層との地質構造に密接な関連をもっている。この地区は 長崎-佐世保間の国道34号線沿いで観察できる。一方 北部波佐見地区の岩体は熱水変質作用を受けて陶石化している。この岩体は陶磁器原料として採掘されてきた。その焼物は古くから有田焼と並んで波佐見焼として知られている。

南西部地区は 多良岳火山基盤岩類としたアルカリ岩系のかんらん石玄武岩が分布し その上部を多良岳火山の大村安山岩が覆い 更に大野原玄武岩が被覆している。大野原玄武岩の噴出点と思われる付近では スコリア集塊岩がある。

東方の嬉野沖積地区には 嬉野温泉街がある。泉源はいずれも古第三紀杵島層群中で 弱アルカリ性の重曹泉で 泉温は60-90℃である。

針尾瀬戸には“鳴戸のうず潮”と並ぶ壮大な“西海の鳴戸渦潮”が発生し 昭和30年頃に完成したアーチ式橋梁の西海橋とともに観光名所になっている。

大村湾はナマコの産地でもあり 季節になると旅の食膳に飾られる。また 南隣大村図幅(1966)には 二つの小島を利用して設計された長崎空港があり 当時では海上空港として空港建設に一つの方向を出した。離着時には 西彼半島の長崎変成岩類 多良岳火山及び北松浦玄武岩台地の地形が良く見られる。

地質ニュース	第348号	8月号
	定価 ¥540	千実費
昭和58年8月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	株式会社 久雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	